

2018年3月期第2四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料

2017年11月6日

東証一部 証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結)(セグメント別) …P 4
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P 6
- 3. 部門別の概況 …P 8
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P14
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P18

II. 2018年3月期 業績見通し

- 1. 連結業績見通し …P20
- 2. 配当 …P21

III. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画 基本方針 …P23
- 2. 中期経営計画 経営目標 …P24
- 3. 中期経営計画 重点施策 …P25
- 4. 「収益基盤の更なる強化」の概要 …P26

参考資料

- ・用語集 …P29

I. 決算の概要

RASA CORPORATION

1. 2018年3月期第2四半期 ①決算概要(連結)

● 経営環境

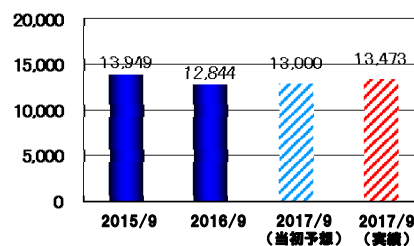
- 海外の政情不安が顕著化も、経済は比較的安定に推移し、景気は緩やかな回復基調
- 企業収益が改善し、設備投資の持ち直しが継続

● 決算概要

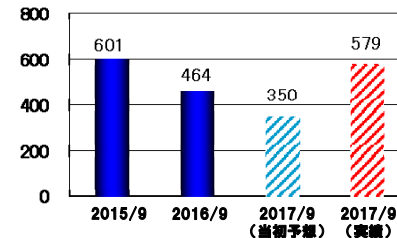
- 売上高は各事業ともほぼ計画通り推移し、前年度同期比増収
- 鉱産物の市場に底打ち感が出たことに加え、ポンプ類の販売やメンテナンス事業が堅調に推移したことから利益面でも当初予想を上回り、前年度同期比増益

- 売上高・・・134億7千3百万円(前年同期比+4.9%)
- 経常利益・・・5億7千9百万円(前年同期比+24.9%)
- 当期純利益・・・3億9千5百万円(前年同期比+13.8%)

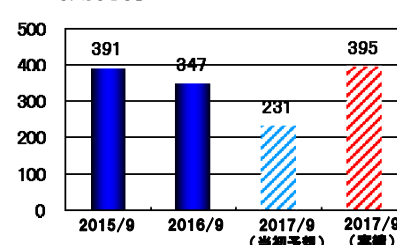
■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



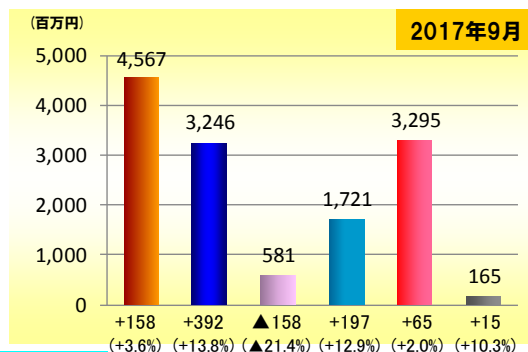
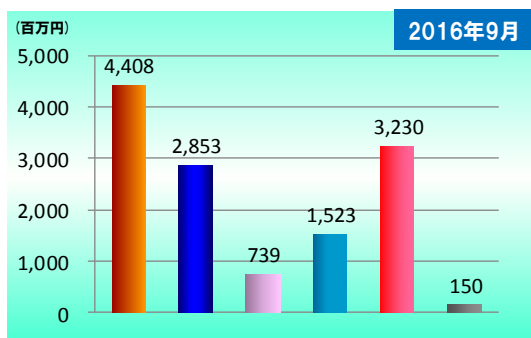
■ 当期純利益 (百万円)



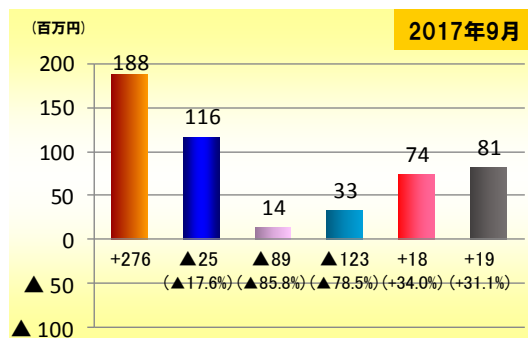
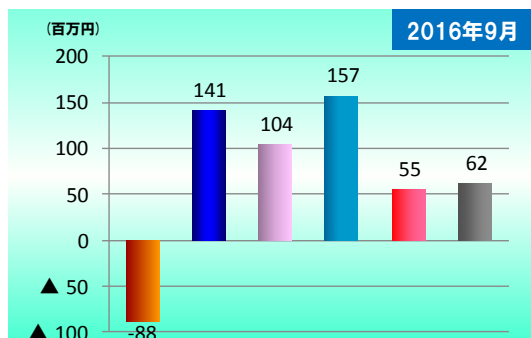
RASA CORPORATION

1. 2018年3月期第2四半期 ②決算概要(セグメント別)

● 売上高



● 営業利益



2. 2018年3月期第2四半期 ①連結損益計算書

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2016.9)		当第2四半期 実績(2017.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	12,844	100.0	13,473	100.0	628
資源・金属素材関連	4,408	34.3	4,567	33.9	158
産機・建機関連	2,853	22.2	3,246	24.1	392
環境設備関連	739	5.8	581	4.3	▲158
プラント・設備工事関連	1,523	11.9	1,721	12.8	197
化成品関連	3,230	25.1	3,295	24.5	65
不動産賃貸関連	150	1.2	165	1.2	15
内部相殺	▲61	▲0.5	▲103	▲0.8	▲42
売上総利益	2,307	18.0	2,459	18.3	151
販売費及び一般管理費	1,874	14.6	1,948	14.5	74
営業利益	433	3.4	510	3.8	76
営業外収支	30	0.2	69	0.5	38
経常利益	464	3.6	579	4.3	115
特別損失	0	0.0	0	0.0	-
税金等調整前四半期純利益	463	3.6	579	4.3	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	347	2.7	395	2.9	47
1株当り四半期純利益(円)	30.44		36.35		

2. 2018年3月期第2四半期 ②個別損益計算書(ラサ商事)

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2016.9)		当第2四半期 実績(2017.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
	売上高	8,001	100.0	8,394	
資源・金属素材関連	4,408	55.1	4,567	54.4	158
産機・建機関連	2,853	35.7	3,246	38.7	392
環境設備関連	739	9.2	581	6.9	▲158
売上総利益	1,762	22.0	1,998	23.8	235
販売費及び一般管理費	1,604	20.0	1,678	20.0	73
営業利益	157	2.0	319	3.8	162
営業外収支	28	0.3	46	0.6	18
経常利益	185	2.3	365	4.4	180
特別損失	0	0.0	0	0.0	-
税引前四半期利益	185	2.3	365	4.4	180
四半期純利益	119	1.5	243	2.9	124

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力商品のジルコンサンドは、市場での品不足状態により販売単価が上昇回復し、前年同期比増収
- 金属シリコンは、国内外での競争激化により、販売数量が減少し、前年同期比減収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
ジルコンサンド	1,226	1,432	205	16.8	1,255	1,200	▲54	▲4.3
チタン原料	537	533	▲3	▲0.7	594	585	▲8	▲1.5
輸入原料	463	734	270	58.3	512	791	279	54.6
金属シリコン	1,801	1,709	▲92	▲5.1	1,678	1,715	36	2.2
その他商品	179	157	▲21	▲12.1	191	150	▲40	▲21.1
合計	4,208	4,567	358	8.5	4,231	4,443	212	5.0
粗利益率	5.5	11.1	5.6	101.8	5.4	13.2	7.8	144.4

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、ワーマンポンプの販売およびメンテナンス事業が堅調に推移したことにより前年同期比増収
- 建設機械は、東南アジア向けのシールド掘進機の停滞もあり、受注、売上ともに減少

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
ワーマンポンプ	1,468	1,566	97	6.7	1,574	1,573	▲ 1	▲ 0.1
ヒドロスタルポンプ	415	460	44	10.8	895	801	▲ 93	▲ 10.4
その他ポンプ	214	185	▲ 29	▲ 13.8	241	242	1	0.5
その他産業機械	527	697	170	32.4	839	897	58	7.0
産業機械 計	2,625	2,909	284	10.8	3,550	3,515	▲ 34	▲ 1.0
シールド掘進機	360	267	▲ 92	▲ 25.7	701	488	▲ 212	▲ 30.3
その他建設機械	67	68	1	1.6	74	74	▲ 0	▲ 0.5
建設機械 計	428	336	▲ 91	▲ 21.4	775	563	▲ 212	▲ 27.4
合計	3,053	3,246	192	6.3	4,326	4,078	▲ 247	▲ 5.7

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 活況であった前期の反動もあり、環境商品、水砕設備商品ともに減収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	262	204	▲ 57	▲ 22.1	281	193	▲ 87	▲ 31.1
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	316	267	▲ 49	▲ 15.6	512	383	▲ 129	▲ 25.2
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	160	109	▲ 50	▲ 31.7	177	146	▲ 31	▲ 17.9
合計	739	581	▲ 158	▲ 21.4	971	723	▲ 248	▲ 25.6

3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 旭テックが担うセグメント
- 工事関連が順調に推移、受注動向も堅調
- ラサ商事の顧客からの受注も発生

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	1,523	1,721	197	12.9	2,055	2,200	145	7.1

3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- イズミが担うセグメント
- 原油価格が安定し、電線関連商品が好調に推移したことから前年同期比増収

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
化成品関連	3,230	3,295	65	2.0

3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底
- オフィスビルの稼働率は100%と良好
- 前期の買換物件により収益性が向上

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2016.9)	当期 (2017.9)	増減額	増減率
不動産賃貸関連	150	165	15	10.3

4. 連結貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当第2四半期末 (2017.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	15,917	57.4	14,553	54.8	▲1,363	▲8.6
現金及び預金	2,768		2,757		▲10	
受取手形及び売掛金	8,415		7,528		▲886	
完成工事未収入金	1,090		905		▲184	
商品及び製品	2,348		1,909		▲439	
未成工事支出金	1,017		1,099		82	
その他	277		352		74	
固定資産	11,834	42.6	12,016	45.2	182	1.5
有形固定資産	8,298	(29.9)	8,248	(31.0)	▲50	▲0.6
建物及び構築物	2,188		2,126		▲62	
土地	5,933		5,933		-	
その他	176		188		11	
無形固定資産	50	(0.1)	39	(0.2)	▲10	▲21.4
投資その他資産	3,484	(12.6)	3,728	(14.0)	243	7.0
投資有価証券	2,658		2,839		180	
その他	825		888		63	
資産合計	27,751	100.0	26,569	100.0	▲1,181	▲4.3

4. 連結貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当第2四半期末 (2017.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	8,770	(31.6)	7,839	(29.5)	▲931	▲10.6
支払手形及び買掛金	4,166		3,979		▲187	
短期借入金	1,400		1,100		▲300	
1年内返済予定の長期借入金	1,345		1,353		7	
1年内償還予定の社債	169		80		▲89	
未払法人税等	468		211		▲257	
その他	1,220		1,115		▲105	
固定負債	6,017	(21.7)	5,452	(20.5)	▲564	▲9.4
長期借入金	5,146		4,514		▲632	
繰延税金負債	477		521		43	
退職給付引当金	206		162		▲43	
その他	186		254		68	
負債合計	14,788	53.3	13,292	50.0	▲1,495	▲10.1
株主資本	12,744	(45.9)	12,954	(48.8)	209	
その他の包括利益累計額	218		322		104	
純資産合計	12,963	46.7	13,277	50.0	314	2.4
負債純資産合計	27,751	100.0	26,569	100.0	▲1,181	▲4.3
自己資本比率(%)	46.7		50.0		3.3	

4. 個別貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当第2四半期末 (2017.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,803	61.4	9,463	57.6	▲1,339	▲12.4
現金及び預金	1,861		1,821		▲39	
受取手形	1,891		1,558		▲332	
売掛金	4,558		3,988		▲569	
商品	2,291		1,861		▲430	
その他	200		233		33	
固定資産	6,783	38.6	6,974	42.4	191	2.8
有形固定資産	664	(3.8)	677	(4.1)	12	1.8
建物及び構築物	140		135		▲4	
土地	464		464		-	
その他	59		76		16	
無形固定資産	35	(0.2)	27	(0.2)	▲8	▲22.8
投資その他資産	6,083	(34.6)	6,270	(38.1)	187	3.1
投資有価証券	944		1,074		129	
子会社及び関係会社株式	4,279		4,279		-	
保険積立会	618		677		59	
その他	240		239		▲1	
資産合計	17,586	100.0	16,438	100.0	▲1,148	▲6.5

4. 個別貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2017.3)		当第2四半期末 (2017.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	5,335	(30.3)	4,380	(26.6)	▲955	▲17.9
支払手形	1,255		1,154		▲101	
買掛金	1,387		1,347		▲39	
短期借入金	700		300		▲400	
1年内返済長期借入金	903		918		15	
1年内償還予定の社債	160		80		▲80	
未払法人税等	330		146		▲183	
その他	598		432		▲166	
固定負債	1,312	(7.5)	967	(5.9)	▲344	▲26.3
長期借入金	1,091		674		▲416	
退職給付引当金	155		126		▲28	
その他	66		167		100	
負債合計	6,648	37.8	5,347	32.5	▲1,300	▲19.6
純資産合計	10,938	62.2	11,090	67.5	▲152	1.4
負債純資産合計	17,586	100.0	16,438	100.0	▲1,148	▲6.5
自己資本比率(%)	62.2	-	67.5	-	5.3	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 (2016.9)	当第2四半期 (2017.9)	当第2四半期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	3,102	1,267	税金等調整前四半期純利益 579 減価償却費 109 売上債権増減額▲増加 1,071 たな卸資産増減額▲増加 358 仕入債務増減額▲減少 ▲187 未成工事受入金の増減額▲減少 151 未払消費税等の増減額▲減少 ▲245 法人税等の支払額 ▲438
投資キャッシュ・フロー	▲753	▲75	有形固定資産の取得による支出 ▲7 保険積立金の積立による支出 ▲68
財務キャッシュ・フロー	▲1,651	▲1,202	短期借入金の純増減額▲減少 ▲300 長期借入による収入 50 長期借入金の返済による支出 ▲674 社債の償還による支出 ▲89 配当金の支払額 ▲185
換算差額	▲0	▲0	
増減	696	▲10	
期首残高	3,059	2,768	
期末残高	3,755	2,757	

II. 2018年3月期業績見通し

RASA CORPORATION

1. 2018年3月期の連結業績見通し

- 2017年9月15日付で2018年3月期通期連結業績予想の修正についてニュースリリースを開示済
- 当初予想から増収増益の見込み

(単位:百万円・%)

【連結】	2017年 3月期 実績 ①	2018年 3月期 当初予想 ②	2018年 3月期 修正予想 ③	当初予想 対比 ④ (③-②)	当初予想 対比 増減率 ④/②	前期比 ⑤(③-①)	前期比 増減率 ⑤/①
売上高	29,937	29,000	30,200	1,200	4.1	263	0.9
営業利益	1,459	1,550	1,800	250	16.1	341	23.4
経常利益	1,639	1,700	1,950	250	14.7	311	19.0
当期純利益	1,348	1,125	1,362	237	21.1	14	1.0
1株当り 当期純利益(円)	119.52	99.73	125.25	25.52	25.6	5.73	4.8

RASA CORPORATION

20

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

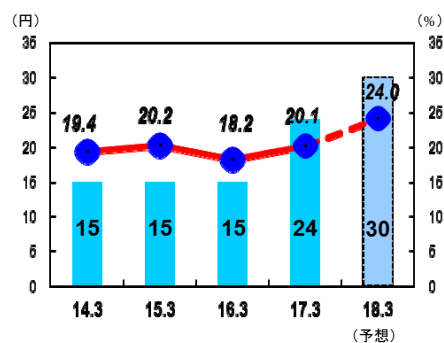
● **2017年3月期実績 24円**

【中間】7.5円【期末】16.5円

● **2018年3月期予想 30円**

【中間】15円【期末】15円

■ 配当金・配当性向の推移



配当方針

安定配当



配当性向
25%前後
の維持

III. 中期経営計画の進捗

1. 中期経営計画 基本方針

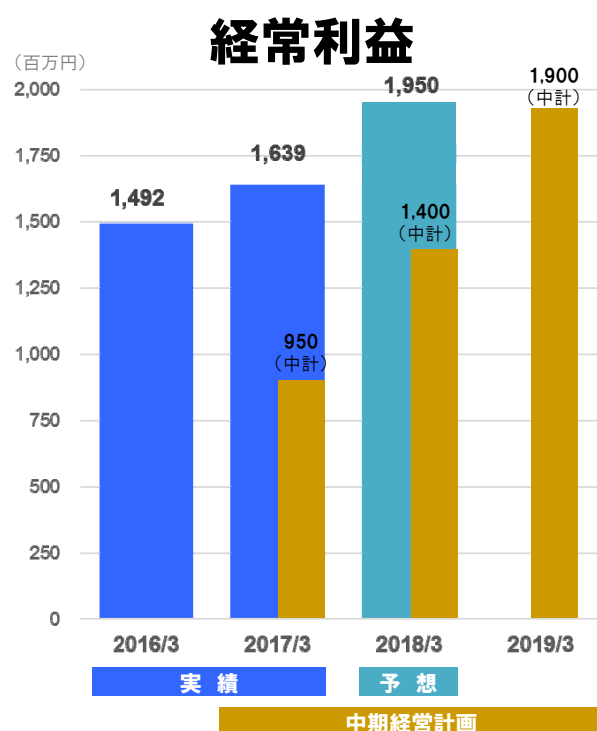
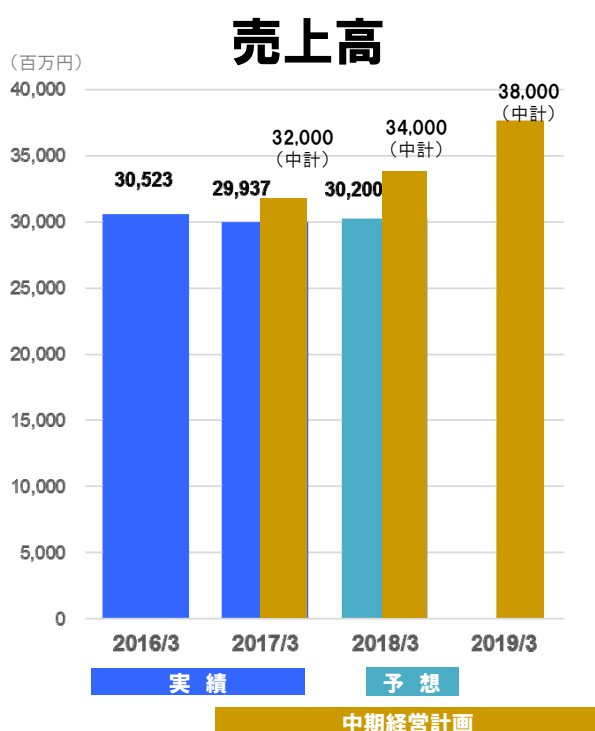
「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画 基本方針

- ① 変革の好機と捉え、重点施策の推進により企業価値向上を目指す
- ② 創立80周年に向け、専門商社の枠組みを超えた付加価値創出企業として、持続的な成長を目指す
- ③ 当中計から配当方針を見直し、株主価値の極大化に努める

23

2. 中期経営計画 経営目標と実績・予想（連結）



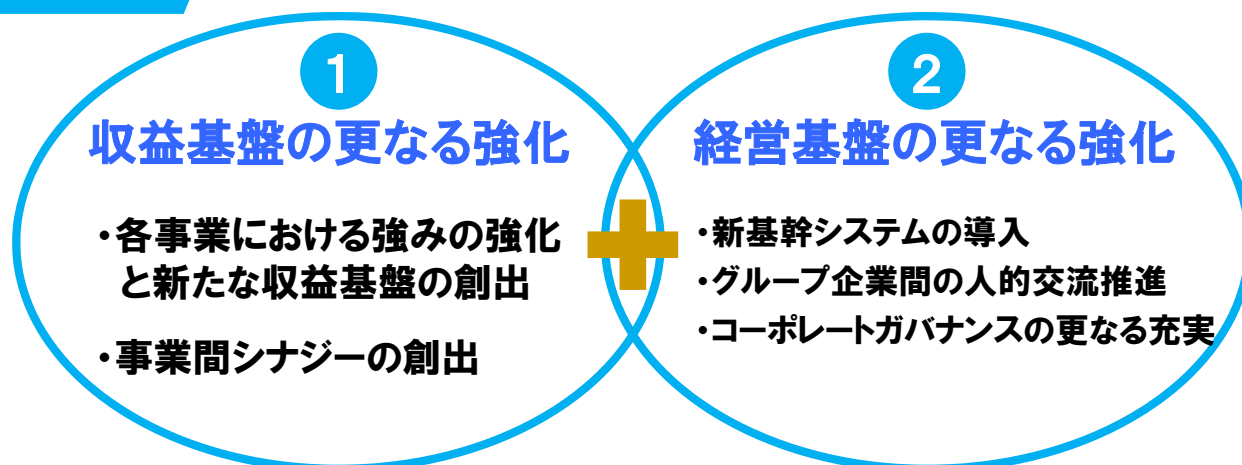
24

3. 中期経営計画 重点施策

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
重点施策

2つのテーマに取り組む



25

4. 「収益基盤の更なる強化」の概要 ①

【各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出】

資源・金属素材関連

- 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直し

産機・建機関連

- 国内シェアNo.1のスラリーポンプにおける更なるシェア拡大
- BCP関連製品(多目的可搬式ポンプ)の販売拡大

環境設備関連

- コンサルティング営業によるポンプ関連製品の販売強化
- 石炭ガス化複合発電所向けのラサシステム導入推進

プラント・設備工事関連

- 既存顧客の設備更新需要の取り込み強化
- 新工場稼働による新規事業の拡大(ステンレス配管事業・ポンプ整備事業など)

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した海外向け需要の取り込み強化

不動産賃貸関連

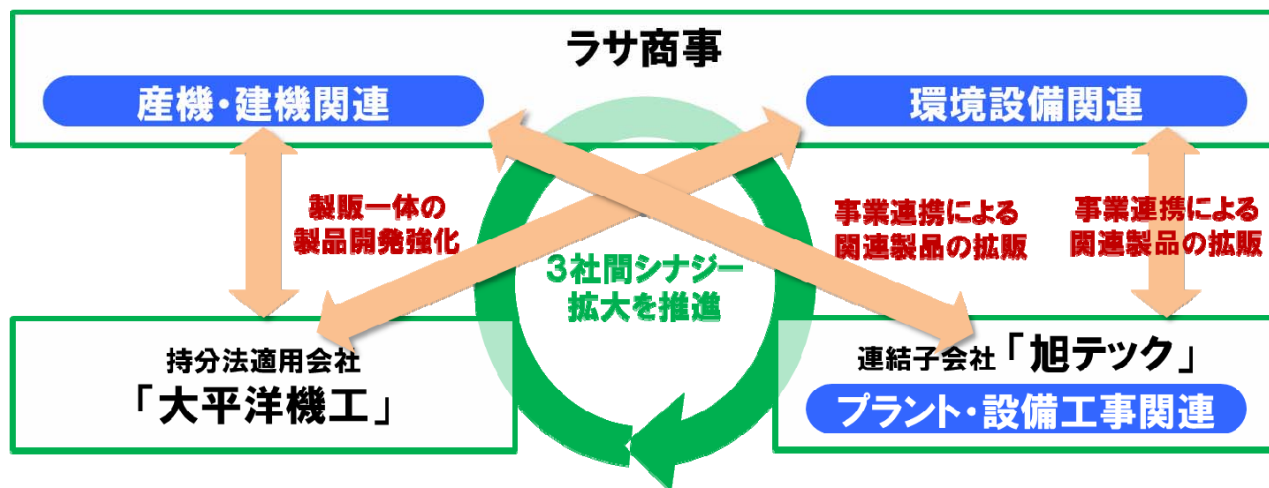
- グループ遊休地の更なる有効活用の推進
 - ・飯能工場跡地の有効活用
 - ・八潮駐車場の事業化検討 など

26

4. 「収益基盤の更なる強化」の概要 ②

【事業間シナジーの創出】

特に、将来的に大きな事業連携効果が見込まれる**機械関連3事業間シナジー**および**当社を含む関連3社間シナジー**の追求を強力に推進



27

2018年3月期第2四半期 決算説明会

参考資料

用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「Clean Coal Technology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。

用語集 ④ プラント・設備工事関連

用語	内容
回転機	電動機・タービンなどのように、軸を中心として回転する機械の総称。往復型機械に対していわれる。

